

amazon key

オートロック付きマンションでも

置き配

を可能に



Amazon Keyとは

- オートロック付きマンションにお住まいのお客様に、便利にAmazonの荷物を受け取っていただくための仕組みです。
- Amazon Keyを導入したマンションでは、Amazonの委託先である配送業者または個人事業主である配達ドライバーが、配送アプリからマンションのオートロックを解除できるようになります。
- これまでオートロック付きマンションでは、お客様不在時の置き配ができませんでした。Amazon Key導入により、入居者様はいつでも置き配をご利用いただけます。
- Amazon Keyは無料*でお使いいただけます。機器の費用、通信費等はAmazonが負担しますので、これらに関して管理会社様やオーナー様の費用負担はありません。
- 導入実績は2023年12月時点で10,000棟超。Amazon Keyを導入したマンションでは、導入前と比較して再配達率が80%以上減少しました。

*別途電気代がかかります。年間で最大1000円程度です。



再配達減のソリューションとして 2023年3月、三井不動産レジデンシャルリース様との協業を発表

NHK NEWS WEB (2023年3月2日 17時35分) より

“置き配”オートロックでも可能に 大手が連携 その背景は？



受け取れない荷物。罪悪感を感じながらもたび重なる再配達の依頼…こうした荷物の割合は高止まりしています。物流業界では人手不足が深刻化していて、2030年には35%の荷物が運べなくなるという試算も。

そんな中、ネット通販大手とマンション管理大手が、オートロックのマンションで“置き配”が可能になるシステムの導入拡大に向けて協力することになりました。その狙いは？そして物流業界の現状は？

ネット通販大手のアマゾンジャパンとマンション管理大手の三井不動産レジデンシャルリースが2日、都内で記者会見をしました。

発表したのは、オートロックのマンションで、いわゆる「置き配」の導入を拡大するための協力です。

導入の拡大が検討されている仕組みでは、配達員が現地で荷物に添付されたQRコードなどを専用のアプリで読み込むと、あらかじめ業者側が登録していた配達スケジュールや位置情報と合致しているか、システム上で確認が行われます。そのうえで、配達員がアプリによってマンションのオートロックを解除することができるということです。

この管理会社は、全国で2900棟以上のマンションを管理していて、システムの導入を拡大することで配達員の負担を減らすとともに、受け取る側の利便性向上にもつながるとしています。

動画と記事はこちらから

<http://bit.ly/3L5nfa8>



37

Amazon Key導入のメリット

入居者様

- 不在時でも置き配で荷物を受け取れます。荷物を待ったり、再配達を依頼する必要がありません。在宅で手が離せない時にも、インターホンや配達員への応答なしに荷物を受け取れます。
- お米や水など、重い荷物を宅配ロッカーから運ぶ手間がなくなります。
- 配達する荷物を持ったドライバーだけが入館でき、配達完了するとロック解除期限が切れるので安心です。

管理会社様・管理組合含むマンションオーナー様

- Amazon Keyは無料で導入でき、利用費もかかりません。コストをかけずに、暮らしを便利にすることで入居者の満足度向上につながります。
- Amazon Keyの専用機器は原則として目にふれないところに設置しますので、美観に影響しません。
- Amazon Keyを導入しても、入居者のオートロックの使用方法は変わりません。



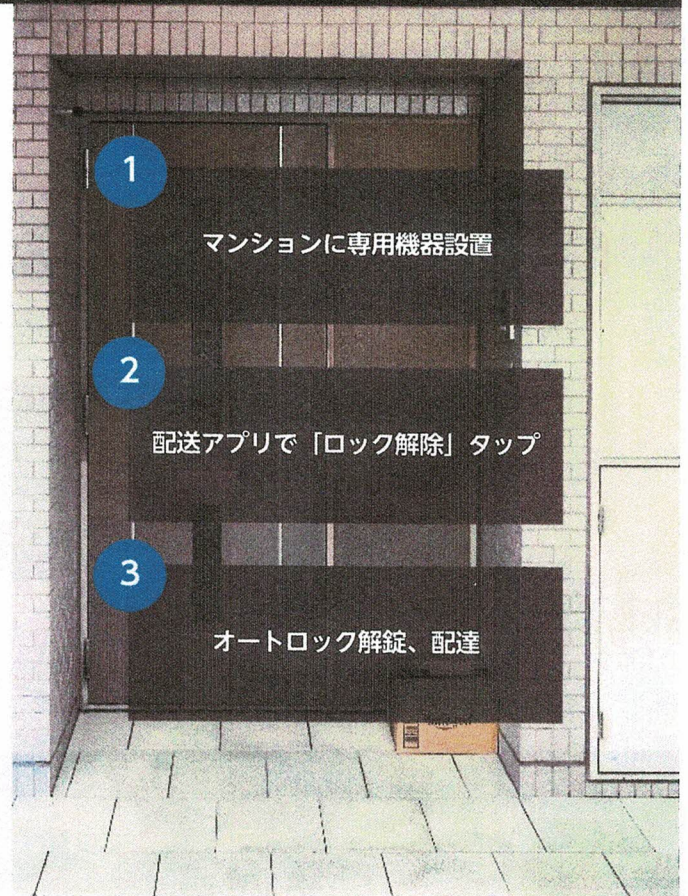
38

配送のステップ

- Amazonが管理会社様、またはオーナー様にあらかじめ許可をいただき、専用の機器をマンションに設置します。
- KfBを導入したマンションにお届けする荷物を持ったドライバーが到着すると、ドライバーが使用する配送アプリに「ロック解除」のボタンが表示されます。



- ドライバーがロック解除ボタンをタップすると、アプリはサーバーと通信し、ドライバーIDやタップした時間、持っている荷物等の情報を確認。問題が無ければロックが解除されます。
- 入館したドライバーはお客様の配達希望に従い、置き配または対面で荷物をお届けします。



安全のしくみ



ドライバーがそのマンションにお届けする荷物を持っている時のみ、ロック解除が可能です。配達を完了すると、ロック解除はできなくなり、同日であったとしても再度の入館はできません。

またドライバーはロック解除ボタンを押すのみで、オートロックの暗証番号は伝わりません。

ロック解除ボタンが表示されるのは、配送アプリのみ。その配送アプリを使用できるのは、Amazonの委託先であるドライバーのみです。

置き配を指定し、配送状況画面で「お届け済み」となっているのに商品が届いていない場合などには、Amazonがお客様から状況をお伺いし、商品の再送や返金に対応いたします。

専用機器の設置

- 縦6cm×横7.5cm×厚さ2.2cm
- 機器自体が通信機能を備えており、Wi-Fi等の準備は不要です。
- 天井の点検口内、自動ドアエンジンケース内、集合玄関機内、管理室内など複数の中から最適な場所を選び、機器を設置します。
- 自動ドアや集合玄関機の端子とAmazon Keyの機器を、ワイヤーで接続します。配送アプリからロック解除リクエストを受けたサーバーは、設置済の機器に信号を送信。機器から物理的につながった端子に解錠信号を送ることでオートロックが解除されます。



ほぼ実物大



導入までの流れ

- Amazon Keyの導入候補の物件リスト（郵便番号・住所・物件名・戸数）をお送りください。
- 利用規約の提出から導入完了まで1か月程度。お申込みが多い時期にはお待たせする可能性があります。

導入条件

都道府県： 北海道、東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、大阪、京都、兵庫、福岡
(2023年3月現在)

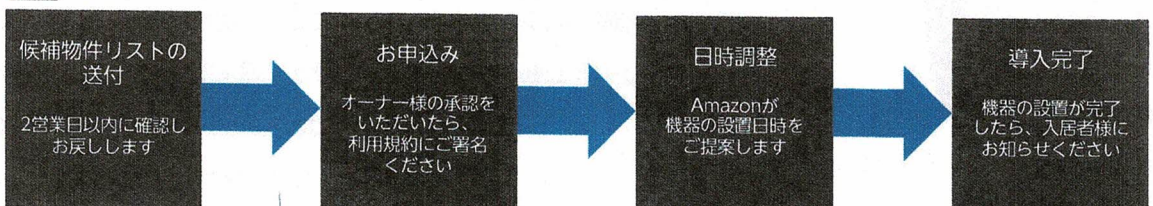
エリア： Amazonの配達エリア内（候補物件リストをいただいてAmazonが確認）

設備： オートロック付きで、1棟に10戸以上の住戸

承認： Amazon Keyの導入に対してオーナー様の承認が得られていること



〒・住所
物件名・戸数



約1か月